



第4回

# 忠敬の協力者たち

平成23年11月29日 ㊦ 平成24年1月22日 ㊦

— 〈江戸〉のクロスポイント —

堀田正敦

榎本武揚

江川英龍

大野規周

平成23年度

## 伊能忠敬記念館企画展



第5回

# 原図の世界

平成24年1月31日 ㊦ 3月18日 ㊦

— 謎解き伊能図 —

第4回 平成23年11月29日(火)～平成24年1月22日(日)  
**忠敬の協力者たち** —〈江戸〉のクロスポイント—

地域と身分を超えてつながる

文政4(1821)年 大日本沿海輿地全図完成。—— 伊能忠敬個人の偉業として語られることの多いこの出来事は、測量器具を作製した時計職人、後押しをしてくれた大名、現地で便宜をはかってくれた測量家など、実に多くの人々の協力があって成り立ったものでした。また、そのなかからは幕末・維新後、日本の近代化に大きな役割を果たした者も生まれました。本企画展では、あまり取り上げられないことのない忠敬の協力者と、彼らのその後について紹介します。忠敬の全国測量をひとつの舞台として、江戸時代を生きた人々の地域と身分を超えたつながりが、歴史の1ページをめくっていく軌跡を感じていただければと思います。

第5回 平成24年1月31日(火)～3月18日(日)  
**原図の世界** — 謎解き伊能図 —

残された痕跡を探す

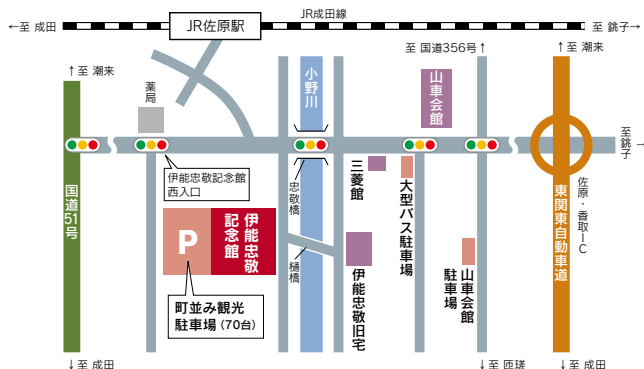
「一体、どうやって作ったんだろうね」—— 伊能忠敬の作った地図(伊能図)を前にしてよく聞かれるこうした疑問に、もっとも多くを語ってくれるのが、「下図」と呼ばれる測量原図です。「下図」は、点と線だけで構成された無彩色の地図ですが、忠敬の地図作りはまずこの「下図」から始まります。本企画展では、平成22年に国宝に指定されたこれら測量原図を展示しながら、忠敬たちによる地図の作り方やその「テクノロジー」を紹介します。所々にあけられた小さな穴、そこから放射状に伸びる線など、地図上に残されたさまざまな痕跡を見つけながら、伊能図作成の謎に迫っていきます。

**展示解説を  
聞いてみませんか!**

日程：毎週日曜日(平成24年3月18日まで)  
 ※ただし、1月1日、29日は除きます  
 時間：午後2時から、約25分程度  
 場所：伊能忠敬記念館受付脇ロビーにお越しください  
 料金：無料(ただし、入館料が必要です)

企画展の開催期間に合わせて、館内展示の解説を行います。ぜひお気軽にお越しください。

- ◆開館時間 午前9時～午後4時30分(午後4時頃までに入館してください)
- ◆休館日 月曜日/年末年始
- ◆入館料 大人500円(450円)/小・中学生250円(200円)  
 ※( )内は15人以上の団体料金。  
 ※千葉県在住の65歳以上の人は450円(証明できるものをご提示ください)
- ◆交通案内 [自動車] 東関東自動車道「佐原・香取インターチェンジ」から15分。国道51号  
 線 通称山之辺交差点から5分  
 [電車] JR佐原駅下車、徒歩10分



※バスは、大型バス駐車場または山車会館駐車場に駐車してください。町並み観光駐車場は普通車のみ駐車できます

**伊能忠敬記念館**

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ1722-1 電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649  
[www.city.katori.lg.jp/museum/](http://www.city.katori.lg.jp/museum/)



堀田正敦肖像画  
 佐野市郷土資料館保管  
 近江堅田藩主で、忠敬による全国測量の実施を最終的に決断した人物とされています。



榎本武揚肖像写真  
 函館市中央図書館所蔵  
 戊辰戦争では旧幕府軍として戦いました。父の箱田良助は、忠敬測量隊の隊長でした。



江川英龍肖像画  
 江川家所蔵  
 伊豆斐山代官を務めました。父英毅は、天文暦学の勉強を通じて忠敬と深い交流がありました。



大野規周肖像写真  
 独立行政法人造幣局所蔵  
 江戸の時計職人で、祖父・弥五郎、父・弥三郎は忠敬の測量器具の多くを作製しました。



箱館付近図 国宝 当館蔵

北海道の函館付近を描いた地図です。他の伊能図と比べて特異な縮尺で描かれているのが特徴です。



島原半島付近図 国宝 当館蔵

九州の島原半島付近を描いた下図です。現物を透かして見ると、針であけられた小さな穴があります。